

2025年2月9日(日)第二主日礼拝

エレミヤ書29章10～14節

『みことばを宣べ伝える教会』

序論:

- ①2025年は、どんな節目の年でした。
- ②「預言者」とは、どのような役目がありますか。

本論:

1. 苦難はやがて終わりを迎える

- ①神はまず、絶望のどん底に陥っている民に何を言われましたか(5～6節)。
- ②神はなぜ、イスラエルの民をさばかれたのですか。
- ③神は「七十年が満ちるころ」どうされると約束されましたか。

2. 苦難の先に主のご計画を見る

- ①「平安を与える」とは、どういうことですか。
- ②「七十年」先を見ろということは、どういうことですか。
- ③「わたし自身…よく知っている」とは、どういうことですか。

3. 苦難の中を信仰をもって生きる

- ①エレミヤは、絶望にどん底に陥っている民に、神殿はなくても、どうするように言いましたか。
- ②神はイスラエルの民に、何を約束されましたか。
- ③苦難の中を信仰をもって生きるとは、あなたにとって具体的にどうすることですか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。